

エムトラスタッフ
塗田さんの旅行日記 第3弾
忘れられない!?
夜発、ドーヴァー海峡の旅

ありがたい会社命令
「一人でしばらくヨーロッパまわっておいで！」
翌日には機上の人でした…。

さて、今でこそユーロスターの登場で（1994年11月14日運行開始）、パリとロンドンは陸路でも3時間で行き来できますが、ちょっと前までは船での移動でした。旅人の私にとっては船旅なんてなかなかロマンチックじゃない！ということで、料金も時間も節約できる夜便に乗ることにしました。

パリ北駅を23:30に出発する列車で船着き場のカレー(Calais)まで行くのですが、21:00をまわった頃からそのホーム周辺にバックパッカー達が次々と集まってきて、皆それぞれ出発までしばし休憩タイム。寝てる人もいれば、読書してる人もいる。なんだかいい感じ！「日本人いないかな～。」と思いつつ、これからドーヴァー横断にドキドキ、ワクワク。そして定刻どおり出発。予約したクシェット(簡易寝台車)は上下2段の上段の方。リュックが重くて上げるのが大変！でも、日本の寝台列車より幅が広くてなかなか快適。とりあえず横になることにしました。

キトキトだった私の目も次第に眠りの世界へ…。「どれくらい走ったかな～？」列車が止まって、新しいお客さんが乗り込んでくる気配を感じながらウトウト。「今はどこを走っているのかなあ～。」な～んて思いながらウトウト。と、突然ガラリと扉の開く音。そして次に聞こえたのは異常に驚いた奇声！それは車掌の声でした。「わおう！何でまだ人がいるんだー、何で寝てるんだー。起きろ！起きろ！この列車はもう車庫に向かってんだぜい。出られなくなるぞー。船が出ちまうぜい。」ってな感じ。そう、着いたのに気付かず寝ていたのです。（終点で良かった～）

突如のことに全く対応できなかった私。でも身体は反射的に飛び起きて、手探りでリュックを探し当て、身体や頭をあちこち壁にぶつけながらも上段から降りようとするのだけれど、なんせパンクってるので降りられないときたもんだ。そんな私に車掌さん、「Calm down, Calm down, Calm down. (落ち着け、落ち着け、落ち着け。)」とリフレインしてたわ！そうだよね～、私もびっくりだけど、車掌はもっとびっくりだよね。前代未聞って言ってたわ。

車体と共に車庫に閉じ込められずにすんだ私は、今度は船着き場まで、まさに全力疾走！夜中の2時に！あの姿は、今思い出してもこっこいだわ。

しかもクールなはずのこの私が…旅って怖い。

おかげさまで無事乗船でき、船は英國のドーヴァー(Dover)到着。そこで、再び列車に乗り換えるロンドン・ピクトリア駅まで合計9時間の旅をなんとか終えることができました。

「もう失態はしないわ。」と心中にかたく決めた私。でも、やっと英語圏に来れたという安心感と旅も終盤に入ってきたことで緊張の糸が切れたのでしょうか。命の次に大事なパスポートを、なんとハロッズに置き忘れてしまったのです。しかも紛失自体に気付いたのは翌日の朝！
旅っていいよね～刺激的で……（涙）

*ユーロスター=英國と大陸をつなぐユーロトンネルを走る国際特急
*ハロッズ=ロンドンにある王室御用達老舗デパート

拝啓、日本の皆様。モモは今ローマにいます。昨日はトレヴィの泉へ行きました。「肩越しにコインを投げると再びローマへ戻って来る」と聞いて、試してみたけどモモにはやっぱり無理みたい…。でも親切なおばさんが代わりに投げてくれました。モモもまたローマに来られるかな。

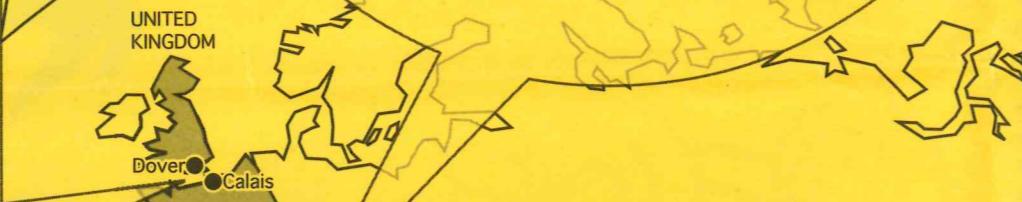
今朝はアン女王の気分でスペイン階段に座ってみました。モモは「ローマの休日」が大好きなのです。

そしてモモが一番行ったかったコロッセオへ。「コロッセウム崩る時、ローマも倒れん。」古代ローマ帝国に思いを馳せるモモなのでした…。



名犬モモ一匹旅【ローマ編】

※この物語はフィクションです。



The World 世界の旅

このコーナーはエムトラをご利用のお客さまや、エムトラスタッフ(や、そのペット)から寄せられた世界の話を皆様に紹介するコーナーです。貴重な体験をお持ちの方はどうぞエムトラへ。

★エムトラおすすめツアー～バリ島～★

かつてのアジアリゾートブームで、世界中からたくさんの旅行者が訪れたバリ島。現在はそのブームも落ち着き、バリ島本来の静けさを取り戻しつつあります。そんな今こそ真のリゾートを体験するチャンス。特に夏はバリ島のベストシーズン。全盛期に比べ、リーズナブルになっている価格も魅力。この機会に本物のリゾートを味わってみては？

バリ島4日間 ¥53,000～ (2名1室/おひとり様)

日程	スケジュール・宿泊地・食事
1日目	[午前]名古屋→デンパサールへ [夕刻]着後ホテルへ バリ島泊●機内食
2日目	[終日]自由行動 ※オプショナルツアーなどでお楽しみください。 バリ島泊●朝食
3日目	[終日]自由行動 [夜]空港へ 機内泊 ●朝食
4日目	[深夜]デンパサール発→帰国の途へ [午前]名古屋に帰着 ●機内食

★利用予定航空会社：ガルーダ・インドネシア航空

★利用予定ホテル：バカンビーチコテージ、レギャンビレッジ、フォーティーンローズ他

★食事条件：朝食2回

★添乗員：同行しませんが、現地係員がお世話いたします。

★最少催行人員：2名

特典①子供料金（2才以上12才未満）は上記料金の半額！

②ファミリーに最適！4名様から専用車を御用意。

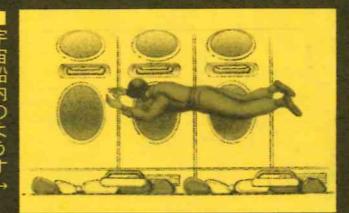
③安心のホテル指定。各ホテルからの特典もあります。

④日程表やタグなどのギブアウェイを無料作成。

君は行くのかそんなにしてまで…「宇宙編」

時代は宇宙です。ハワイであります。エムトラでは宇宙旅行の受付もしています。すでに、券内ではいち早く予約を承りました。2005年12月出発予定（約1200万円）。

エムトラでは宇宙旅行への準備もしてあります。子供の場合は、エムトラは夢みでいた宇宙へ実際に飛べる時代になりました。エムトラはあなたがた、あなたの夢を叶えます。



■宇宙船内のように



■こんなユニフォームです
■冒険心をくすぐるハンフレット

SPACE VOYAGES



内瀬さんの香港便り 2003.6.1

さっそく行きつけの三文治専門店で、持ち帰りを注文したのです。

相変わらず、来客でごったがえしていた時間だったので、刷染みのおばさんは私のいう言葉がよく判らなかったのでしょうか、「まあ、あなたの廣東語、最近下手になったのと違う！」という罵声を浴びせられながら、注文品を頂いて持ち帰ったのでした。

こんなことしきゅう。が、こちとらは「蛙のツラをシヨンベン」だわね。でないと毎日がやっていけない。使えば使うほど相手もそれなりの程度を期待する。そうすれば、時には判りにくいとなれば、ストレートに何でもものを言ってくるのがこちらの土民様です。

支那語というは、まるで音楽を歌うがごとくしゃべらないと、相手に伝わらない。音階が重要。そこが我々外国人の泣き所。逆にそれだけ語彙が少ないという背景があるのです。その少なさを音階で区別している、といつてもいいでしよう。が、英語と比べると日本語など、語彙の少ない原始的な言葉だな、と思わざるを得ない…。

What do you say to it?



オーストラリア旅行記

大野は今日は白装束バナウェーブで大盛り上がり！ヘリは飛んでるし見物客でいっぱいだったみたい。

オーストラリアは良いところでした。名古屋空港はのんびり、SARSは皆あんまり気にしてないみたいで、マスクしてるのは5人に1人ぐらい。やっぱり開放としてたけど。帰りはマスクしてるのはほとんど居なかつたです。オーストラリアン航空は、カジュアルでエコノミーな感じ。機内食は行きも帰りもカレーでした。オーストラリアは中国より飯が美味しかった。ワインも美味しかったし。OGビーフも食べだし、肉好きにはいいところです。でも、ケアンズはちっちゃい町でした。タクシーあんまり居ないし、ちょっと不便。

コアラと記念撮影しました☆コアラは動物臭とユーカリの臭いがして臭かったです。カンガルーに餌もあげました。可愛かったけど、ピョンピョン跳んでくるのはちょっと怖かったです。奈良の鹿に、鹿せんべいあげるみたいな感じでした。カンガルー餌付けしたのに、その日の晩ごはんはオーストラリアの味セット。カンガルー・クロコダイル・エミューのステーキ！お味は今ひとつでした。スーパーで犬猫用の生肉のパックが売ってたんだけど、日本に買って帰って大丈夫なんですか？愛犬に買って帰ったかったけど、ワシントン条約(?)不安だったので、でっかいソーセージみたいな見た目の、1kg、要冷蔵のベットフードを買って帰りました。かなり美味しかったみたいですごく喜んでいました。今度は生肉持って帰りたい！買って帰れます？没収されない？(※注:没収されます！)

ケアンズは良いところでした。また行きたいな。でも遠かった…。今度行くなら、キッチン付いてるコンドミニアムでレンタカー借りてスーパーに行って、OGビーフを買って食べたいです。

旅は滞りなく順調でした。ありがとうございました。
また、今後ともよろしくお願ひいたします。

2003.5.9 西澤慶子さんより